

エンジョイワーク・こころ 通信



小金井市障害者就労支援センター
エンジョイワーク・こころ

〒184-0013
東京都小金井市前原町3-41-15小金井市役所第二庁舎1階
TEL:042-387-9866 FAX:042-380-7765
Mail: e.w.cocolo@bz03.plala.or.jp

2015年4月末日発行

vol.13

エンジョイワーク・こころの2015年に向けて



2015年度を迎え、小金井市障害者就労支援センターでは、数名の就職を果たした方と就労の時期を迎えた方への支援が続いています。4月から100名以上の企業も雇用率を満たすことができなければ、納付金を納めることになるため小金井市内でも、障害のある方の雇用について新たに組み込まれる企業が増加していくことも考えられます。始めて、障害のある方の雇用を考えている企業からの相談も想定しているところです。

2014度は、民間の就労移行事業所や就労A型事業所が増加し、短い期間の支援で就職できる人が

平成26年度 実績報告		H25年度	H26年度
新規登録者数 手帳別 (人)	身体障がい	3	2
	知的障がい	11	4
	精神障がい(発達含)	16	8
	手帳なし・他	4	0
	登録者合計	34	14
相談件数(件)		6,539	7,156
新規就労者数	一般就労	19	19
	福祉就労	3	1

が少なくなったように思います。一方、登録される方は、就労に関する支援よりも働くための基盤となる、生活面の“お金”や“住居”“片付け”などの管理する方法や能力を支える支援、“物事の捉え方”や“感情のコントロール”といった支援の必要な人の増加が目立ち、相談件数も7000件にも上りました。支援を通じて、“自分の生きていく道”を“自分らしく”登録される方が、個々に考えていくことのできる支援を心がけていくことの必要性を感じました。

(就労支援センター所長 ポーバル聡美)

センター職員のご紹介

ポーバル(所長・就労支援コーディネーター)

開所から今日までの7年間、自宅なのか、センター(職場)なのか、分らなくなるくらいの密着度です。就労を通じて、生き活きとしていく皆さんに支えられています!

日向(就労支援・生活支援コーディネーター)

日々業務や家事に追われて忙しく過ごしている中、ほっとするひとは、最近わが家にやってきたハムスターの行動観察と触れ合いタイム。超かわいくて癒されます(笑)

鈴木(就労支援コーディネーター)

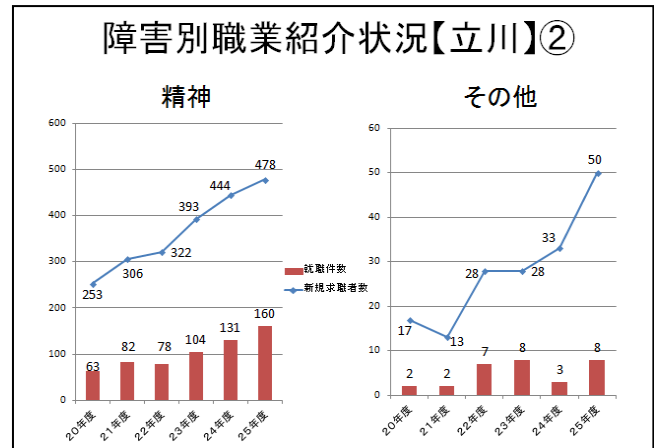
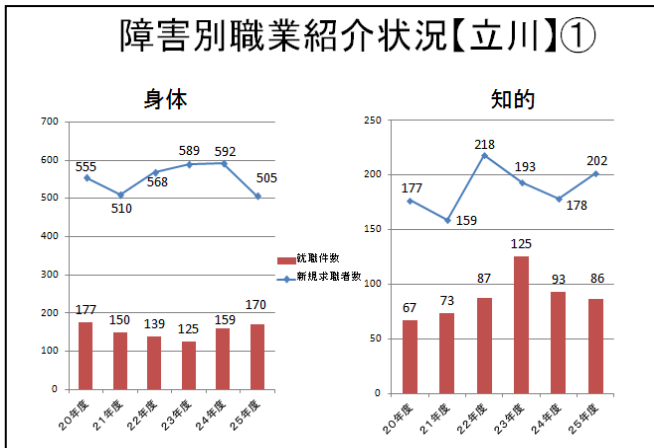
今年1月で丸三年。地域開拓促進コーディネーター職を経て、昨年度から就労支援コーディネーター職に変更。「誠意ある支援」をモットーに頑張っています。

斉藤(地域開拓促進コーディネーター)

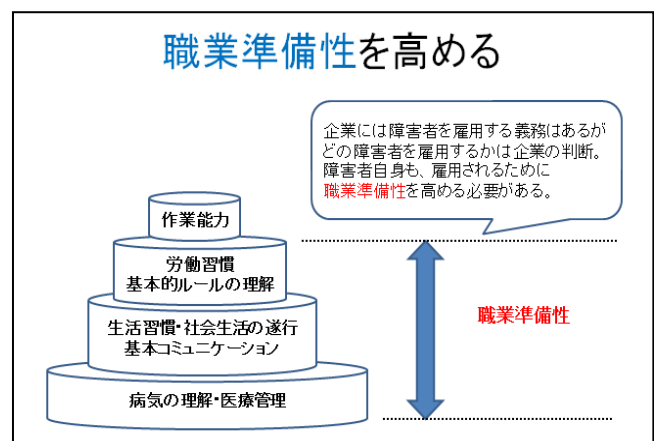
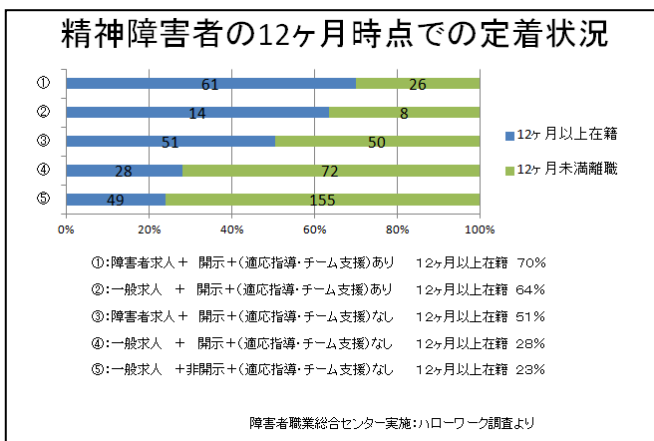
前職までは広告会社やアパレル商社に勤めていた為、現在の仕事は勉強の毎日です。家では今年3歳になる長男の自我(わがまま?)が強くなってきて悪戦苦闘中。頑張ります。

・ ・ ・ データに見る障害者の就労状況 ・ ・ ・

小金井市内の就労支援事業所間での顔の見える関係づくりと連携、就労支援に関わる職員・事業所のスキルアップを目的に、第1回 就労支援者連絡会を1月20日に開催し、市内の就労に関わる15団体にお集まり頂きました。HW立川から2名の方を講師としてお招きし、管内（多摩地域）における障害者雇用の現状についてお話し頂きました。その中の一部を抜粋しご紹介致します。



新規求職者数・就職件数において、身体障害者・知的障害者共に横ばいが続いているが、精神障害者は両方とも増加傾向にある。その他（難病・発達障がい・高次脳機能障害等）は求職者数が増加傾向にある。



精神障害者の就職後12か月時点での職場定着（就労継続）状況を見ると、「障害者求人で採用され、障害を開示し、適応指導・チーム支援を受けている方」は12か月後の定着率が70%と最も高い。一方、「一般求人で採用され、障害は非開示、支援を受けていない方」は24%と最も低い。このことから、職場定着を高めたい場合に、当事者をサポートする指導員やチームが存在すること、障害を開示すること、が有意義であることが分かります。また、職業準備性についての説明もありました。企業が障害者雇用の際に重視するポイントとして「職業準備性の高さ」が挙げられました。「職業準備性」とは作業能力以前の「労働週間・基本的ルールの理解」「生活習慣・社会生活の遂行・基本コミュニケーション」「病気の理解・医療管理」を指します。就活者はPCスキルや専門技術などの作業能力を高めることに注意が行きがちであるが、企業が求めているのはその手前の職業準備性であるため、この部分を高めていくことが重要です。

～2014年度 エンジョイワーク・こころ取り組み ピックアップ～

- どのような広場『X'masパーティ』…18人が参加し、ランチとビンゴ大会・ゲームを楽しみました♪
- 働いている精神障がいの方の交流会…各自のお仕事やプライベート等自由に話し情報交換をしました。
- アンガーマネジメント講習…自分の怒りの感情と上手に付き合う為の技術を習得します。早稲田大学から講師の方をお招きし、登録者の抱えている課題に対してセッションを行って頂きました。

ヘルプカード

知っていますか？



障がいがあるため、
困っているのにその意思表示が出来ない…
そんな方のコミュニケーションを支援するツール、
それがヘルプカードです。



「ヘルプカード」とは、障がいのある方が緊急時や災害時に周囲の人に支援を求めるためのコミュニケーションツールです。

東京都が推進していて、都内標準様式を定め、多くの区市町村で取り組みが広がっています。小金井市も2013年度から配布を開始しています。小金井市では、障害者手帳、愛の手帳、難病者福祉手当受給者の方を対象に市役所、公民館、図書館、障がい者関係施設等で自由配布しています。

「ヘルプカード」は行政等へ登録する形式のものではありませんので、緊急時に連絡がきたり保護されたりするものとは異なります。

「ヘルプカード」で出来ることは、周囲の方に「緊急連絡をしてもらうこと」や「一時的なちょっとした手助けをってもらう」ことです。

ヘルプカードは多くの方がその存在を知ることによって初めて機能します。

できるだけ多くの市民の方にご理解いただき、普及、携帯率、利用率を高めて小金井市を障がいのある方はもちろんのこと、誰もが豊かに安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

問い合わせ先 NPO 法人りんく
小金井市障害者就労支援センター エンジョイワーク・こころ(ヘルプカード事業担当まで)
☎042-387-9866 FAX042-380-7765 電子メール helpcard.rink@gmail.com
小金井市 福祉保健部 自立生活支援課
☎042-387-9848 FAX042-384-2524 電子メール s050299@koganei-shi.jp

エンジョイワーク・こころでは、必要に応じて地域のハローワーク、東京障害者職業センター、企業、特別支援学校、障害者訓練校、保健所等関係機関と連携しながらサポートしています。市内在住の方で、就労を希望する障がいのある方であれば、障害者手帳の有無は問いません。これから障がいのある方の雇用を考えている、又は雇用している雇用主の方からのご相談も受け付けています。

予約受付時間 月～金8:30～17:00

相談時間 月～金9:00～16:00

(ただし12:00～13:00を除く)

TEL : 042-387-9866

FAX : 042-380-7765

Mail : e.w.cocolo@bz03.plala.or.jp

